



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.12.16(金)

No.126



文責
松永



火災 避難訓練 ~12/13(火)に行われました~

寒くなり空気が乾燥する時期になるにつれて、火災も増える傾向にあることから、大江小では、例年この時期に火災を想定した避難訓練を実施しています。ですが、全校児童が一斉に屋外へ避難するとなると、密になってしまうことになる…ということで、今回は全校一斉に避難する形ではなく、指定された学級ごとに時間差で避難するようにしました。まず教室で、学習シートを活用して、火事の原因を考えたり、避難をする時の約束事である「お（さない）か（けない）し（しゃべらない）も（どらない）」の合言葉を確認したりしました。そして、火事の際に避難する時に気を付けることや、各教室からどう避難するか（今回は理科室を火元と想定）の経路の確認をしました。「訓練」の放送が入り、指定された学級から運動場に避難し、静かに整列することができました。続けて、避難の様子などを見られていた中央消防署の方から「放送を聞いて先生の指示のもと、速やかに避難ができていたこと、マスクの上からでもハンカチなどを口に当てることで煙を吸うのが防げること、訓練だけどしっかりやれていた」といった話をしていただきました。続けて、消防隊員の方に防火衣装着訓練の様子を見せていただきました。防火衣の装具等をすべて合わせると約10kgになるそうですが、それを1分以内をめどに装着されて出動されているとのことでした。時折確認の言葉を発しながらきびきびと動かれる様子に、子どもたちも思わず見入っていました。これを、6年生3人と先生も1人体験させてもらいましたが「思ったより重くて動くのが大変だった」と感想を述べていました。あつては困りますが、もしもの場合を想定した、こうした避難訓練は、命を守るために大事な学習だといえます。これから火を使うことが多くなる時期ですが、火遊びは厳禁です。ご家庭においても約束事を確認して、各自が「火の用心」に努めるようにしてほしいと思います。



「お世話になった消防署員の方々」 教室で、避難する時の大事なことや「おかしも」の合言葉などしっかり事前学習をしました。



「訓練」の放送を聞いて、落ち着いて避難してきました。運動場に來たら、おしゃべりをせずに静かに話を聞くことができました。



消防隊員の方の「防火衣装着訓練」の様子を見入っていました。約10kgの装具の重さに驚いていました。最後に、お礼の言葉を…